

高齢者虐待対応 現任者標準研修

2025 年度



- ・ 通報があったら、まず何をすれば良い？
- ・ 虐待かどうか、誰が、どう判断すべき？
- ・ 市町村と包括の役割分担は？
- ・ 記録する様式が統一されていない など



お悩みの市町村の担当職員、地域包括支援センター職員の方は、是非ご参加ください。

《問合せ先》

一般社団法人
茨城県社会福祉士会
事務局

TEL：029-244-9030

FAX：029-244-9052

研修実施方法 及び実施日時	◆講義（Zoom） 令和 7 年 7 月 18 日（金） 10：00～15：10 ◆講義と演習（集合） 会場：水戸市千波町 745 ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館 集会室 8 号） 1 日目：令和 7 年 7 月 19 日（土） 10：00～16：40 2 日目：令和 7 年 8 月 1 日（金） 10：00～17：25 3 日目：令和 7 年 8 月 2 日（土） 9：00～16：30
対 象 者	・ 市町村の高齢者虐待対応担当課の現任者 ・ 地域包括支援センターの現任者 ・ 在宅介護支援センター等の現任者
定 員	①全日程参加 50 名 ②Zoom のみ参加 30 名 ※全日程参加を原則とします。 定員になり次第締め切ります。
資 料 代	①全日程参加 2,000 円 ②Z o o m のみ参加 1,000 円 （入金確認後、資料・URL 等を申込者へ送付します）
申込期限	令和 7 年 6 月 21 日（金）

申込方法	茨城県社会福祉士会ホームページの専用申込フォームよりお申込みください。 ①全日程受講（受講料 2,000 円） https://www.csw-iba.org/mailform.php?code=56 ②Zoom のみ（受講料 1,000 円） https://www.csw-iba.org/mailform.php?code=57 ①全日程受講  ②Zoom のみ 
受講料振込先	口座番号：常陽銀行 千波支店 普通 1 4 1 6 9 0 8 口座名義：茨城県社会福祉士会 会長 竹之内章代
研修の目的	高齢者虐待防止法に基づき、高齢者虐待対応にあたる市町村や地域包括支援センター等の現任者が、対応にあたる上での専門的視点、技術を習得し、実践力の向上を図ることを目的とします。 本研修は、養護者による高齢者虐待に対する対応の標準化を目指して公益社団法人 日本社会福祉士会が作成した「<u>市町村・地域包括支援センター都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き</u>」を基に、<u>組織的な虐待対応を行うための実践的な研修を行います。</u>
テキスト	『市町村・地域包括支援センター・都道府県のための養護者による高齢者虐待対応の手引き』（2011 年 7 月刊）中央法規出版 定価 2,860 円（税込） ※研修中に参照しますので、 必要な方は書店にてお買い求めください。 
そ の 他	・ Zoom の講義・集合での演習等、形態が複数ありますので、よくご確認ください。 ・ 演習部分は集合で実施する予定ですが、感染症の拡大状況によっては、オンラインなどに切り替える可能性があります。 ・ 申込者以外の方の Zoom 視聴はご遠慮ください。 ・ 研修動画の撮影・複製は禁止します。 ・ 厚生労働省老健局発出の「市町村・都道府県における高齢者虐待への対応と養護者支援について」が令和 5 年 3 月に改訂されています。本研修において、参考とすることがありますので、受講にあたってはプリントアウト・ダウンロード等、参照できるようにご準備をお願いします。

《研修内容》

◆講義（Zoom） ※参加者に Zoom の URL をお送りします

時 間	内 容
7月18日（金） 10：00～ (9：40～入室)	オリエンテーション
10：15～12：00 (105分)	講義「高齢者虐待防止ネットワークの構築」 講師：茨城大学教育学部 教授 瀧澤 利行 氏 ◎高齢者虐待の現状について学ぶ。 ◎虐待防止のネットワーク構築について学ぶ。
13：00～15：00 (120分)	講義「高齢者虐待対応と市町村の責務」 講師：茨城県弁護士会・茨城県虐待対応専門職チーム 弁護士 倉部 奈々 氏 ◎虐待対応における市町村の責務を理解する。 ◎虐待対応における権限行使について理解する。
15：00～15：10	事務連絡

◆講義・演習（集合：ザ・ヒロサワ・シティ会館 分館 集会室 8 号）

時 間	内 容
7月19日（土） 10：00～10：20 (9：30～受付)	オリエンテーション
10：20～11：50 (90分)	講義「高齢者虐待対応と権利擁護」 ◎虐待対応における権利擁護の視点と基本的な流れを理解する。 ◎高齢者虐待対応の手引きに基づいた虐待対応の流れと帳票の構成・活用方法について理解する
12：50～13：50 (60分)	講義「初動期段階」 ◎通報受理、事実確認や緊急性の判断など、初動期段階の対応のポイントを理解する。
14：00～16：30 (150分)	演習「初動期段階」 ◎初動期段階の「受付」・「事実確認」・「アセスメント」・「コアメンバー会議」等で活用する帳票を体感する。
16：30～16：40	事務連絡

8月1日（金） 10：00～10：10 （9：30～受付）	オリエンテーションと振り返り
10：10～11：00 （50分）	講義「対応段階」 ◎虐待の背景・要因をアセスメントし、支援計画を策定する対応段階におけるポイントを理解する。
11：10～14：40 （150分） 途中昼食休憩 （60分）	演習「対応段階」 ◎対応段階の「アセスメント」・「虐待対応ケース会議」等で活用する帳票を体感する。
14：50～15：40 （50分）	講義「評価と終結」 ◎対応計画の評価と虐待対応機関として支援の終結のポイントを理解する。
15：50～17：20 （90分）	演習「評価と終結」 ◎評価・終結においての「評価」で活用する帳票を体感する。
17：20～17：25	事務連絡
8月2日（土） 9：00～9：10 （8：50～受付）	オリエンテーション
9：10～16：10 （360分） 途中昼食休憩 （60分）	総合演習 ◎総合演習を通して虐待対応の一連の流れを理解する。
16：10～16：30	質疑等